



米子市長定例記者会見資料	
令和2年4月3日	
担当課 (担当者)	防災安全課 (田淵)
問合せ先	0859-23-5337

報道機関各位

防災行政無線放送施設のデジタル化完了について（お知らせ）

米子市内すべての防災行政無線のデジタル化が完了しましたのでお知らせします。

1 デジタル化に至る経緯

米子市ではアナログ式の防災行政無線放送施設を運用しておりましたが、設備の老朽化や電波法に係る無線設備規則の改正に伴い、平成28年度から4期にわたり更新工事を行い、令和2年3月17日をもって米子市全域の防災行政無線のデジタル化を完了しました。

2 更新工事の概要

(1) 期間

平成28年度～令和元年度（4期にわけて工事）

令和2年3月17日で工事完了

(2) 場所

米子市内全域

(3) 更新設備等

親局設備及び屋外拡声子局256局を更新。2局を新設。

3 デジタル化による効果

(1) 安定運用

ア 老朽化に伴う故障や部品等の枯渇リスクの解消

イ 新しい無線設備規則への適応

(2) 米子市全域での一元運用により、迅速かつ正確な情報提供が可能となった

これまでは、旧米子市地域と旧淀江町地域で異なる周波数を使用していたため、地域ごとに放送を行っており、放送に時間を要し、誤操作を誘発する要因となっていた。

この度、米子市全域の一元的運用が可能となり、市民へ迅速かつ正確な情報提供を行うことができるようになった。

(3) 拡張性、連動性の向上により、同時に複数手段での情報提供が可能となった

防災情報発信について、トリピーメール送信、中海テレビテロップ放送、緊急速報メール送信、ホームページへ掲載の操作を個別に行う必要があったが、この度、一括して発信することが可能となり、市民へ同時に複数手段による情報提供を行うことができるようになった。